

講義科目名 (コース名)	刑事訴訟法 I
氏 名	緑 大輔

【教材の目的と概要】

Moodle に、コース「刑事訴訟法 I」を開設した(履修者数約 250 名、3 年次以上配当科目)。目的として、教材配布と受講者向け連絡を設定した。このコースでは、①講義レジュメ(欠席者用・PDF ファイル)、②講義関連情報の連絡(ニューストピックの利用)、③期末試験過去問(PDF ファイル)および自習用練習問題(教員個人ホームページへのリンク)、④本年度期末試験終了後の解説レジュメ(PDF ファイル)を掲載した。

【講義における活用方法】

教材配布のツール(講義関係データベース)、連絡用のツールとしての利用に徹した。履修者が 150 名であることから、学生・教員間の双方向の利用には困難を伴う。試験直前期にはチャットルームも開設したが、利用者は皆無であった。

【授業で使った感想】

履修者のうち利用登録数は 132 名、連絡トピックの閲覧数は 8 月末時点で約 300、他の各ページの閲覧数は約 40~230 だった(教員の閲覧数除いた数)。(a)欠席者の教材配布が容易になるとともに、(教員の予想外の利用だが)復習用にレジュメを余分にダウンロードするので助かるという学生も散見された。(b)期末試験の過去問の提供により試験前の学習を促すことにつながった、(c)インフルエンザ休講・補講、レジュメ訂正などの連絡を円滑に行えた。講義アンケートの自由記述欄に、Moodle の他科目拡大を希望する意見が相当数確認された。課題は、(1)大規模講義での双方向的な利用方法の模索、(2)利用学生の割合の向上(利用登録が各学生の手作業に依存し、そのこと自体が利用を妨げている可能性)である。



図 1: トップページ上半分



図 2: トップページ下半分